

ミスミグループ本社 2015年3月期 第1四半期 連結業績

～ 四半期決算として過去最高の売上高・利益を更新 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2015年3月期 第1四半期（2014年4月1日～2014年6月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	増減率
売上高	40,274	48,114	+19.5%
のれん等償却前 営業利益※	5,660	7,078	+25.1%
営業利益	5,164	6,520	+26.3%
純利益	3,188	4,087	+28.2%
1株当たり純利益	35.25円	44.94円	

※2012年11月のDayton Progress CorporationおよびAnchor Lamina America, Inc.（以下北米DL社）の買収に伴うのれんおよびその他無形固定資産の償却前営業利益

<2015年3月期 第1四半期の連結業績ハイライト>

1. アジア各国の生産活動が伸び悩むなか、国内市場における売上伸長と海外市場におけるミスミ事業モデルの浸透により、売上高・利益ともに過去最高を更新

- 2015年3月期 第1四半期の売上高は481億円、前年同期比19.5%の増収となり、四半期売上高として過去最高を更新しました。
- 国内経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動があったものの、堅調な設備投資に支えられて全般的に緩やかな回復基調が継続しました。一方、海外ではアジア各国において、中国経済の拡大テンポが緩やかになっているほか、アセアン地域で総じて足踏み状態となっています。
- こうした環境下、当社グループはミスミ事業モデルの浸透に向けた取り組みとして、海外の全現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、価格だけでなく利便性の向上に努めることで顧客の潜在ニーズに応えています。海外において、大手顧客を中心に広がる短納期・大口ニーズに応えると同時に、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みも着実に実を結んでいます。
- 国内では、自動車やスマートフォン関連などの需要増を取り込んだことにより、FA事業を中心として売上が大幅に伸長し、連結売上高全体の増加を牽引しました。
- 利益については、売上の増加や最適調達に向けた現地生産・現地調達の着実な推進などにより、営業利益は65億円（前年同期比+26.3%）、純利益は40億円（同+28.2%）となり、売上高と同様、過去最高を更新しました。

2. 全セグメントで増収

- 2015年3月期第1四半期のセグメント別売上高は、以下の通り全セグメントで前年に対して増収となりました。

(百万円)	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	増減率
F A事業	20,133	23,796	+18.2%
金型部品事業	13,886	15,147	+9.1%
VONA事業	8,907	10,734	+20.5%
小計	42,928	49,678	+15.7%
調整額(期ズレ等)	▲2,653	▲1,563	—
合計	40,274	48,114	+19.5%

- 2015年3月期第1四半期より、報告セグメントの区分を変更しており、増減率については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で算出しています。
- 新たな流通事業として取り組んでいるVONA事業は、非効率・高コストの流通プロセスを独自のモデルで変革し、強力な基幹システムとウェブで顧客の利便性を向上させることにより、流通モデルの変革を起こすことを狙っています。
- VONA事業では、取扱いメーカー数と品揃えを増加させることで、着実に顧客数を伸ばし、前年同期比で20%を超える増収率となりました。

3. 海外売上高比率は45.4%（前年同期比+1.1pt）に上昇

- 2015年3月期第1四半期の海外売上高は218億円（同+22.6%、現地通貨ベース+12.2%）、海外売上高比率は45.4%（同+1.1pt）となりました。
- 地域別売上高は、以下の通りです。

	売上高(百万円)		増減率	
	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	22,457	26,278	+17.0%	—
海外	17,816	21,836	+22.6%	+12.2%
アメリカ	5,309	5,730	+7.9%	±0%
中国	4,175	6,114	+46.4%	+28.0%
アジア	5,767	6,509	+12.9%	+8.9%
ヨーロッパ	2,006	2,599	+29.6%	+16.8%
その他	557	882	+58.3%	+26.0%

- 国際市場におけるミスミ事業モデルの着実な浸透に加え、大手顧客を中心に広がる短納期・大口ニーズにも応え、中国・欧州を中心に高い伸び率となりました。
- ミスミ事業モデルの更なる強化を図り、グローバル展開を加速してまいります。

4. 2015年3月期連結業績は売上高・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し

- 2014年5月13日公表の通期業績予想に変更はありません。
- なお、通期業績予想は、売上・利益ともに過去最高を更新する見通しです。

2015年3月期 連結業績予想（2014年4月1日～2015年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益	1株当たり 配当金
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
第2四半期累計	94,000	9,850	9,850	6,100	67.08	16.80
通期	196,000	20,500	20,500	12,300	135.25	33.85

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2015年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2015年3月期 第1四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 経営総務室 広報・IR 担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372 mail : cc@misumi.co.jp</p>
--